

新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン (少年少女柔道大会)

(公社)大阪府柔道整復師会
柔道委員会

1 大会開催に関して

大会開催にあたり、感染予防と万が一感染者が発生した場合のクラスター発生予防に最大限の努力を払い、試合の準備段階から当日の運営、感染が発生した場合の対応や事後処置などを細かく決めて、参加者（選手・監督・コーチ、役員・委員、審判員など）に措置・対策を講じ周知する。

2 大会運営上の留意事項

(1) 共通事項

- ① 会場運営・総人数等、感染予防およびソーシャルディスタンスの順守開催にあたり、大会規模に応じて、選手数、審判・役員・委員数等を決定し、開閉会式・表彰式等はできる限り簡略化する。

館内の各出入り口には消毒液を設置し、各自がこまめな手指消毒および手洗いを実施、選手以外の入場者は、原則として常時マスクを着用することとし、役員席等の隣席との距離が1～2m以上離れる設定を行う。

- ② 選手・監督・コーチ・役員・委員・審判員・救護関係者などすべての参加予定者は入場時に検温を実施し、37.5度以上の者は入場できない。また、本人含め同居家族や身近な親族等に感染者や感染が疑われる方がいる場合等、参加が困難と判断された場合も参加を取り消したり途中退場を求めたりすることがあり得る。

3密を回避するため、各参加団体毎に受付時間・受付場所を別途設定、事前連絡する。

(2) 選手への対応

選手はマスク着用(アップ・試合中は着用不要)、手洗い義務を励行し、試合待機中の位置取り(選手間は1～2m離す)に注意し、大声での応援、指示は禁止する。

(3) 監督・コーチ・大会役員・審判の対応

原則として常時マスクを着用することとする。各団体の監督・コーチの人数制限について、団体試合においては、1チームにつき監督・コーチ各1名(計2名)とする。個人戦においては、監督・コーチ各1名、選手各学年2名の4名までとする。(事前申込要)

★試合中の大声での指示、指導の禁止(全柔連規定から抜粋)

国内外を問わず国際柔道連盟試合審判規定で行われる試合では、試合中断中(主審の「待て」から「はじめ」までの間)以外でのコーチの発声については、審判員から厳しくコントロールされ1回目は口頭注意が出され、2回目は退場が命じられる。

試合中(全ての間)の大声での指示、指導は禁止し、審判員に注意と退場の権限を与えることとする。

(4) 観客の対応

無観客とする。

3 その他の留意事項および補足事項, 諸連絡

- ① 館内への入場時の受付時間・受付場所等については、3密回避のため事前に設定された事項に従って実施することとする。
- ② 上記の感染予防措置の決定と事前通知や注意事項を周知しておくこと。
- ③ 館内共用施設の使用等ならびに館内消毒について、適宜行うものとする。